

RYUSHI vol. 5 「古代オリエント③東地中海世界の諸民族」

Cf.) 読本 pp. 21-23

タペストリー pp.55-58

1. 地中海東岸の諸民族

○地中海東岸：レヴァント地方（「太陽の昇るところ」；現在のシリア、レバノン、イスラエル、ヨルダン）

- ・交通の要衝：メソポタミア——エジプトを結ぶ；地中海への出入り口

Cf.) レヴァント[東方]貿易（中世）：北伊——レヴァント地方；アジアの香辛料、特産品運ぶ

- ・政治的、軍事的従属が続く：複雑な地形が統一国家の形成阻む

○(1) 「海の民」[“Sea Peoples”] ((2) 前 12c)：系統不明諸民族の集団

- ・ペリシテ人：「海の民」の一派；パレスティナ（＝「ペリシテ人の土地」）に居住
- ・東地中海世界へ侵入：(3) **ヒッタイト**、(4) **ミケーネ文明**滅亡；エジプト(5) **新王国**衰退
→セム語系民族（アラム人、フェニキア人、ヘブライ人）の活動

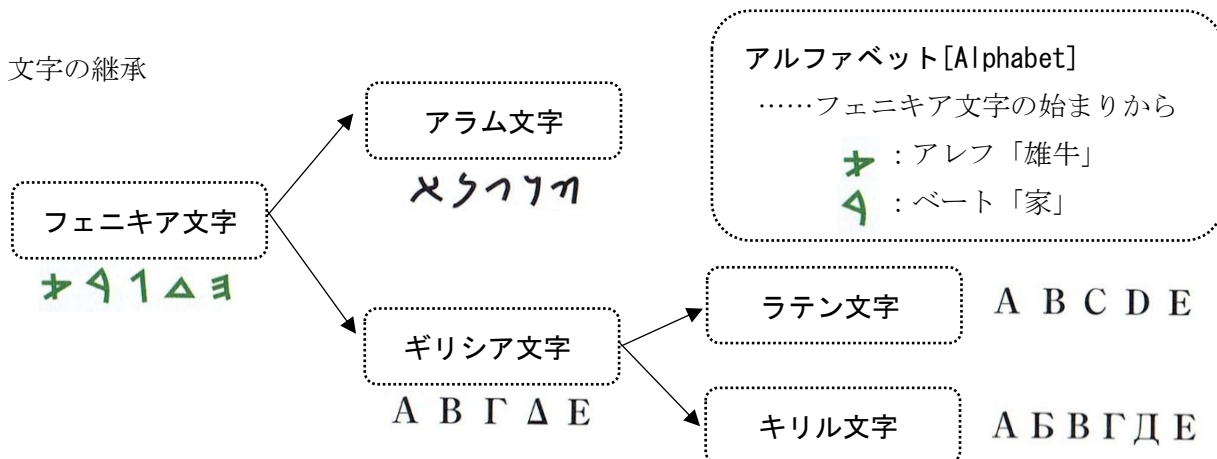
○(6) **フェニキア人**[Phoenicians]：カナーン人の一派

- ・(7) **海上貿易**：ミケーネ文明衰退後、地中海貿易を独占
 - ▲造船・航海技術に優れる：レバノン杉、染料、ガラス工芸品等の輸出
 - △紫（フェニキアの語源？）の染料：ローマ皇帝の衣服に使用
 - △(8) **レバノン杉**：燃料、石材の運搬、造船、ミイラの防腐剤等に使用
- ・都市国家建設：(9) **シドン**、(10) **ティルス**、ビブロスなど
 - ▲(11) **カルタゴ**：ティルスからの植民で建設→共和政期ローマに敗れ滅亡
- ・(12) **フェニキア文字**：シナイ文字を改良して成立；アルファベットの源流（子音 22 文字）

○(13) **アラム人**[Aramaeans]（前 12c 末～）：シリア→メソポタミアに進出

- ・(14) **内陸貿易**：ラクダを利用した(15) 隊商貿易
 - ▲(16) **ダマスクス**：オリエント世界の貿易が交差する中心地
 - ▲(17) **アラム語**：オリエント世界の国際商用語；アッシリア、アケメネス朝の公用語
 - ▲(18) **アラム文字**：フェニキア文字から派生；アルファベットを使用
- ・都市国家の緩やかな同盟（≠統一国家）→アッシリアに従属（前 8c）

(cf.) 文字の継承



2. ヘブライ人とユダヤ教

- (19) **ヘブライ人** (他称) / (20) **イスラエル人** (自称) / (21) **ユダヤ人** (ユダヤ教成立後)
Cf.) 現代のユダヤ人 = 「ユダヤ人の子、孫 or ユダヤ人と結婚した人 or ユダヤ教信者」
- ・ 族長アブラハムの伝説 (『創世記』) : カナーン (= (22) **パレスティナ**) の地を神から与えられる
→ 一部はエジプトへ移住するも迫害を受ける
 - ・ (23) **出エジプト** ((24) **前 13c**) : エジプト新王国の迫害から脱出
▲(25) **モーセ** : (26) **預言者** = 神の言葉を預かり、人々に警告する者
△(27) **『十戒』** : (28) **シナイ山** でヤハウェから授かる
→ 律法の基礎 : 一神教、偶像崇拜禁止、(29) 安息日 etc...
 - ・ (30) **ヘブライ王国** [イスラエル] : 都(31) **イエルサレム**
▲(32) **ペリシテ人** との抗争 → 王政に移行
▲(33) **ダヴィデ王** [David] (2代) : 巨人ゴリアテを倒しペリシテ人を撃退
▲(34) **ソロモン王** [Solomon] (3代) : イエルサレムにヤハウェの(35) **神殿** 造営
Cf.) 嘆きの壁 : 後世まで残る神殿の一部 ; ユダヤ教の聖地
→ 死後、南北に分裂
 - ・ (36) **イスラエル王国** (北) : 都サマリア
▲(37) **アッシリア** (サルゴン2世) により滅亡 (前722年)
 - ・ (38) **ユダ王国** (南) : 都イエルサレム
▲(39) **バビロン捕囚** [the Exile] ((40) **前 586** ~ 前538) : ユダ王国滅亡
△(41) **新バビロニア** ((42) **ネブカドネザル2世**) による征服
→ 住民は首都(43) **バビロン** へ強制移住 ; (44) **アケメネス朝** により解放
△ヤハウェ信仰の高まり : バビロン捕囚 = 苦難の歴史
 - ・ (45) **ユダヤ教** : (46) **聖地イエルサレム** ; バビロン捕囚後に成立
▲(47) **一神教** (唯一神(48) **ヤハウェ**) / (49) **偶像崇拜禁止**
▲教典 : (50) **『旧約聖書』** (前1cまでに成立 ; ヘブライ語)
▲(51) **選民思想** : 全能の神と契約したユダヤ人だけが救済される
▲(52) **救世主** [メシア] : (53) **「最後の審判」** に際し、ユダヤ教徒を救済
▲(54) **律法** (トーラー) : 『旧約聖書』内のモーセ五書にみられる戒律
△(55) **律法主義** : 律法の形式化 (イエスが批判)
 - ・ (56) **ディアスポラ** (希「分散」 ; 2c) : ユダヤ戦争 (対ローマ帝国) 後、ユダヤ人が離散

☆語彙 : 古代オリエント

- ・ 太陰太陽暦 : 太陰暦を基本に、閏月を挿入して季節とのずれを解消した暦。
- ・ アナトリア [小アジア] : 現在のトルコ共和国にあたる、アジアとヨーロッパの接点となる地域。
- ・ モーセ五書 : 「創世記」、「出エジプト記」、「レビ記」、「民数記」、「申命記」の5つから成る。
- ・ 「最後の審判」 : 世界の終末において、各人が生前の行いから天国 or 地獄に向かうという考え。
ゾロアスター教(vol. 6)の概念に由来する。

RYUSHI vol. 5 「古代オリエント③東地中海世界の諸民族」

Cf.) 読本 pp. 21-23

タペストリー pp.55-58

1. 地中海東岸の諸民族

○地中海東岸：レヴァント地方（「太陽の昇るところ」；現在のシリア、レバノン、イスラエル、ヨルダン）

- ・交通の要衝：メソポタミア——エジプトを結ぶ；地中海への出入り口

Cf.) レヴァント[東方]貿易（中世）：北伊——レヴァント地方；アジアの香辛料、特産品運ぶ

- ・政治的、軍事的従属が続く：複雑な地形が統一国家の形成阻む

○(1) _____[“Sea Peoples”] ((2) _____ ～)：系統不明諸民族の集団

- ・ペリシテ人：「海の民」の一派；パレスティナ（＝「ペリシテ人の土地」）に居住
- ・東地中海世界へ侵入：(3) _____、(4) **ミケーネ文明**滅亡；エジプト(5) **新王国**衰退
→セム語系民族（アラム人、フェニキア人、ヘブライ人）の活動

○(6) _____[Phoenicians]：カナーン人の一派

- ・(7) **海上貿易**：ミケーネ文明衰退後、地中海貿易を独占

▲造船・航海技術に優れる：レバノン杉、染料、ガラス工芸品等の輸出

△紫（フェニキアの語源？）の染料：ローマ皇帝の衣服に使用

△(8) **レバノン杉**：燃料、石材の運搬、造船、ミイラの防腐剤等に使用

- ・都市国家建設：(9) **シドン**、(10) **ティルス**、ビブロスなど

▲(11) _____：ティルスからの植民で建設→共和政期ローマに敗れ滅亡

- ・(12) _____：シナイ文字を改良して成立；アルファベットの源流（子音 22 文字）

○(13) _____[Aramaeans]（前 12c 末～）：シリア→メソポタミアに進出

- ・(14) **内陸貿易**：ラクダを利用した(15) 隊商貿易

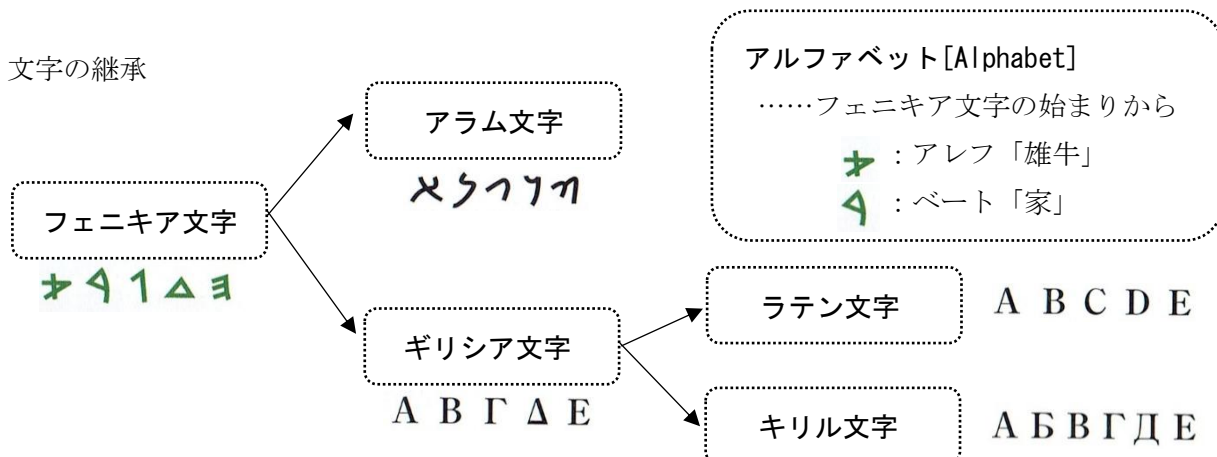
▲(16) _____：オリエント世界の貿易が交差する中心地

▲(17) _____：オリエント世界の国際商用語；アッシリア、アケメネス朝の公用語

▲(18) _____：フェニキア文字から派生；アルファベットを使用

- ・都市国家の緩やかな同盟（≠統一国家）→アッシリアに従属（前 8c）

(cf.) 文字の継承



2. ヘブライ人とユダヤ教

- (19) _____ (他称) / (20) **イスラエル人** (自称) / (21) _____ (ユダヤ教成立後)
Cf.) 現代のユダヤ人 = 「ユダヤ人の子、孫 or ユダヤ人と結婚した人 or ユダヤ教信者」
- ・ 族長アブラハムの伝説 (『創世記』) : カナーン (= (22) _____) の地を神から与えられる
→ 一部はエジプトへ移住するも迫害を受ける
 - ・ (23) _____ ((24) _____ **c**) : エジプト新王国の迫害から脱出
▲(25) _____ : (26) **預言者** = 神の言葉を預かり、人々に警告する者
△(27) **『十戒』** : (28) **シナイ山** でヤハウェから授かる
→ 律法の基礎 : 一神教、偶像崇拜禁止、(29) 安息日 etc...
 - ・ (30) **ヘブライ王国** [イスラエル] : 都(31) **エルサレム**
▲(32) **ペリシテ人** との抗争 → 王政に移行
▲(33) _____ [David] (2代) : 巨人ゴリアテを倒しペリシテ人を撃退
▲(34) _____ [Solomon] (3代) : エルサレムにヤハウェの(35) **神殿** 造営
Cf.) 嘆きの壁 : 後世まで残る神殿の一部 ; ユダヤ教の聖地
→ 死後、南北に分裂
 - ・ (36) _____ (北) : 都サマリア
▲(37) _____ (サルゴン2世) により滅亡 (前722年)
 - ・ (38) _____ (南) : 都エルサレム
▲(39) _____ [the Exile] ((40) _____ ~ 前538) : ユダ王国滅亡
△(41) _____ ((42) **ネブカドネザル2世**) による征服
→ 住民は首都(43) _____ へ強制移住 ; (44) **アケメネス朝** により解放
△ヤハウェ信仰の高まり : バビロン捕囚 = 苦難の歴史
 - ・ (45) _____ : (46) **聖地エルサレム** ; バビロン捕囚後に成立
▲(47) **一神教** (唯一神(48) ヤハウェ) / (49) **偶像崇拜禁止**
▲教典 : (50) _____ (前1cまでに成立 ; ヘブライ語)
▲(51) _____ : 全能の神と契約したユダヤ人だけが救済される
▲(52) _____ [_____] : (53) **「最後の審判」** に際し、ユダヤ教徒を救済
▲(54) **律法** (トーラー) : 『旧約聖書』内のモーセ五書にみられる戒律
△(55) **律法主義** : 律法の形式化 (イエスが批判)
 - ・ (56) **ディアスポラ** (希「分散」 ; 2c) : ユダヤ戦争 (対ローマ帝国) 後、ユダヤ人が離散

☆語彙 : 古代オリエント

- ・ 太陰太陽暦 : 太陰暦を基本に、閏月を挿入して季節とのずれを解消した暦。
- ・ アナトリア [小アジア] : 現在のトルコ共和国にあたる、アジアとヨーロッパの接点となる地域。
- ・ モーセ五書 : 「創世記」、「出エジプト記」、「レビ記」、「民数記」、「申命記」の5つから成る。
- ・ 「最後の審判」 : 世界の終末において、各人が生前の行いから天国 or 地獄に向かうという考え。
ゾロアスター教(vol. 6)の概念に由来する。